

いたばし子どもワークショップ

第1回に参加してくれたみなさんへ

開催日

第1回:令和7年 7月 29日(火)

場所:人材育成センター(区役所2階)

参加者 計 14 人

小学生 9 人 中学生 4 人 高校生 1 人

当日のスケジュール

13:30	あいさつ 挨拶	15:30	まとめ・発表準備
13:35	職員によるプレゼン	16:10	グループワークによる発表
14:05	子どもによる投票	16:30	くちょうあいさつ しつぎおうとう 区長挨拶・質疑応答
14:30	感想・意見交換(グループワーク)	16:50	写真撮影・アンケート

第1回のテーマ

- ① こんな学校をつくりたい！
- ② 魅力的な駅前広場をつくりたい
- ③ いたばしの産業の魅力を知ってもらうには？

当日の司会者

吉良克哉(きら かつや)さん

プロフィール:舞台人として小劇場の演劇、ダンス、国立劇場でのオペラなど幅広く活躍するほか、イベントや式典ではMCとして活動し、進行ディレクター、舞台監督としての顔も持つ。Eテレ「はりきり体育ノ介」では博士役としても知られている。



Q なぜ子どもの意見をきくの？

A 子どもは社会に意見を表明する権利を持っています。その権利を行使する機会を確保するため、また、板橋区政への参加と施策への反映を図り、みんなが暮らしやすい板橋区をつくるため、子どもを対象としたワークショップを実施しました。

発表内容を元に生成 AI で作成したイメージ図



板橋区は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

【1班】テーマ：こんな学校をつくりたい！（①教育総務課・新しい学校づくり課）

○ 職員のプレゼン内容

4. いま困っていること・課題

勉強や、先生、友達とのかかわりについて、あなたがこれからの学校に期待することは何ですか

- 1位 楽しく運動できるじゅぎょうや活動があること
- 2位 自分が自分らしく、友達と仲良くいられること
- 3位 じっさいに体験する時間がたくさんあること
- 4位 自分のきょうみのあることが学べること

出典：令和6年度子どもアンケート（板橋区）
区立小中学校1980名にアンケート（回答数1569人）

みんなが喜べるような学校にするためには、
どういった工夫をすればよいと思いますか。



いばば子どもワークショップ 5

こんな学校を
つくりたい！

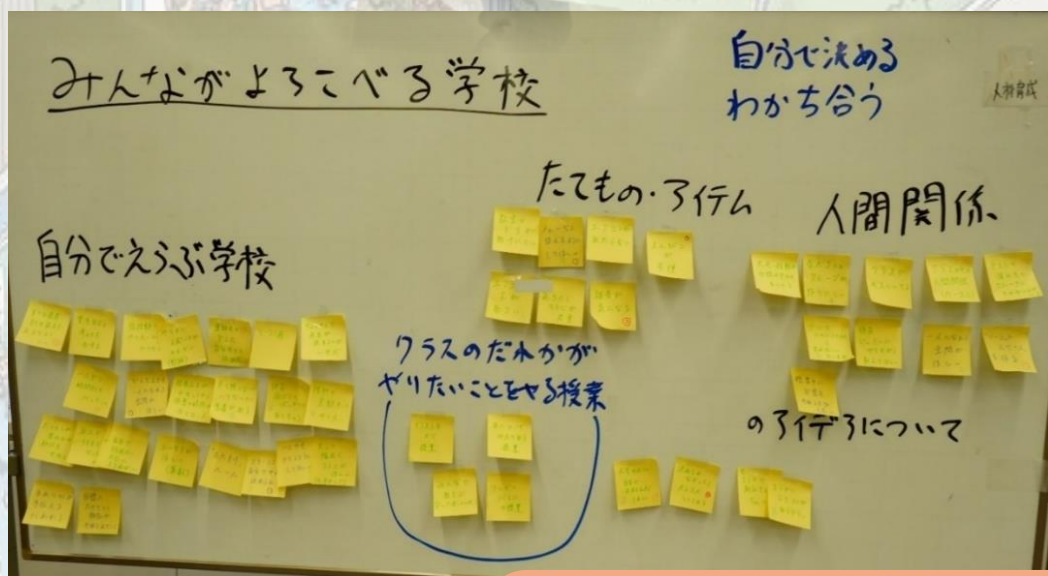


いちばん「応援したい」と
思った投票結果

第3位！



○ 話し合った内容



- ・自分で勉強を進めたい、何を学ぶかを選びたい
- ・一人ずつ時間割をつくる
- ・運動会のダンスを自分たちで決めたい
- ・1人になれる空間がほしい

○ 発表内容



みんなは
どう思う？



いまの学校に対する「もう少し工夫してほしい」「こうなったらいいな」という意見がたくさんでした。

その中で大事なキーワードとなったのが「自分で決める、わかち合う」です。大人や学校の先生から「こうなさい」と言われてやるのではなく、自分の意志で決めると。

人それぞれいろんな考えがある、その違いを認めて受け入れるといった「わかち合いの時間」を作っていくことが『みんながよろこべる学校』につながるのではないかと結論になりました。



○ これからの板橋区

ワークショップを通じて、子どもが、安心感を持ちながら、自ら考えて選択し、行動したいという強い思いを持っていることを理解することができました。

いただいたキーワードはそれぞれ、現在策定中の「MIRAI SCHOOL ^{さくいていしゅう}いたばしー教育ビジョン2035ー」、「MIRAI SCHOOL ^{さくいていしゅう}いたばしー学校施設づくり2035ー」において反映させました。

○「自分の意志で決める」

→「教育を通して、学ぶ喜びや成長する喜び、多様な他者とつながる喜びを感じる中で、人生の選択肢が広がります。この豊かな選択肢の中から選び取ることで、一人ひとりが自分らしい人生を歩むことができます。」と記載しました。

○違いを認めて受け入れる「わかち合い」

→これからの教育でめざす姿「5つのチカラ(M・I・R・A・I)」の「I(Inclusion)」は「違いを認める」状態を表しています。私たちは、違いを認め、つなぐ・つながる・つなげることを基本的な考え方の一つとして反映させました。

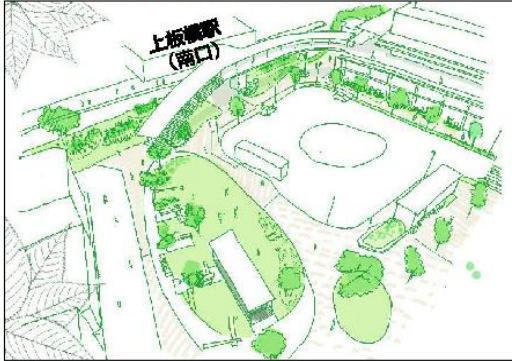
「MIRAI SCHOOL いたばし」の実現に向けて、「自分で選ぶ、決める」機会を増やし、自分と異なる考えを持つ人と良好な関係を築きながら、一人ひとりが自分に合った選択をする力をはぐくむ教育を進めていきます。

【2班】テーマ:魅力的な駅前広場をつくりたい(②地区整備課)

○ 区職員のプレゼン内容

4. いま困っていること・課題

新しい上板橋駅前広場のイメージ図



新しい板橋駅前広場のイメージ図



みなさんはどんな駅前広場だったら、行ってみたいと思いますか??

子どもたちの
意見・要望が
足りない...

いばし子どもワークショップ

7

いちばん「応援したい」と
思った投票結果

第1位!

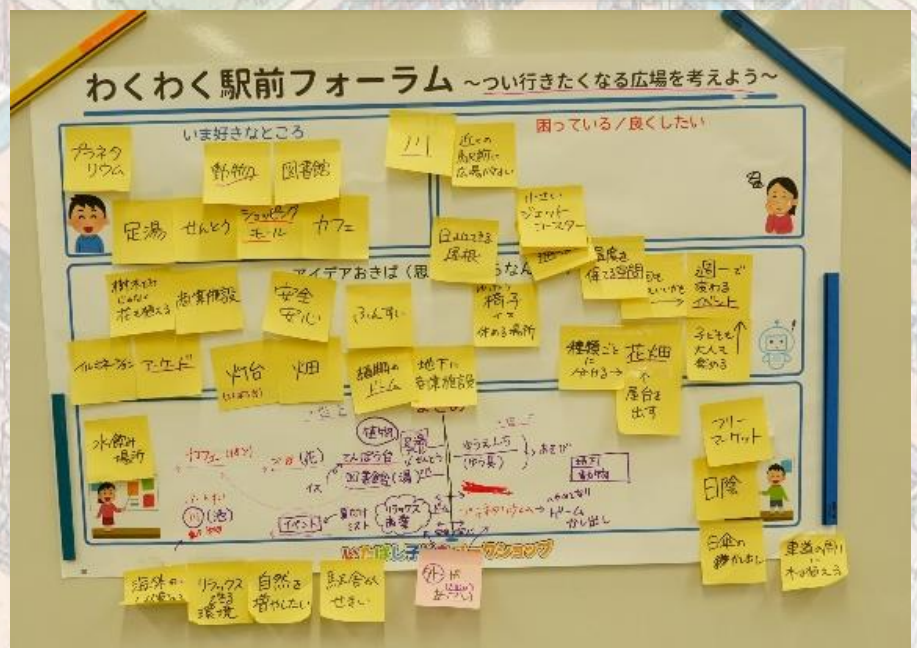


私たちはこの
テーマで話し合
うよ!



○ 班で話し合った内容

- ・図書館、ショッピングモール、カフェなどの施設
- ・屋台、フリーマーケットなどのお店の出店
- ・畑、花壇の設置、植栽など、みどりの充実
- ・屋根、椅子、ミスト、水飲み場
(ゆったり休める場所)
- ・週一で変わるイベント、イルミネーション



○ 発表内容

みんなのやりたいことや好きなものをたくさん盛り込みました。

まず地上には植物や噴水^{ふんすい}、足湯などのリラックスできる環境と商業施設^{しょうぎょうしせつ}があり、

広場では夏祭りやフリーマーケットなどのイベントが週替わりで開催！

商業施設^{しょうぎょうしせつ}にはショッピングモールやカフェなどがあり、快適さ^{かいてき}と便利さ、新鮮さを環境面にも配慮して作ります。

続いて地下には、遊園地や遊具をはじめとした、遊びのスペースが広がります。

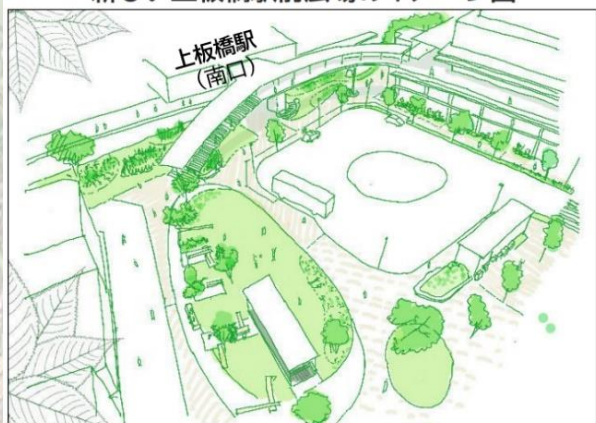
プラネタリウムやゲームの貸し出しなどもあると良いです。

もし実現できたらとても楽しい駅前広場になると思います。



○ これからの板橋区

新しい上板橋駅前広場のイメージ図



新しい板橋駅前広場のイメージ図



今回、子どもたちからもみどりの充実や休める場所といったリラックスできる環境を求める声が多くありましたので、引き続きみどり豊かな駅前広場を目指して取り組んでいきます。ショッピングモールなどの施設、楽しい駅前広場についても関係事業者等と意見交換をし、イベントの開催などは活動主体となるエリアプラットフォーム(活動団体)の構築に取り組めます。

実現に向けては多くの制約がありますが、様々な制度の活用や事業のやり方を検討しながら、事業を進めていきます。



【3班】テーマ:板橋の産業の魅力を知ってもらうには? (③産業振興課)

○ 区職員のプレゼン内容

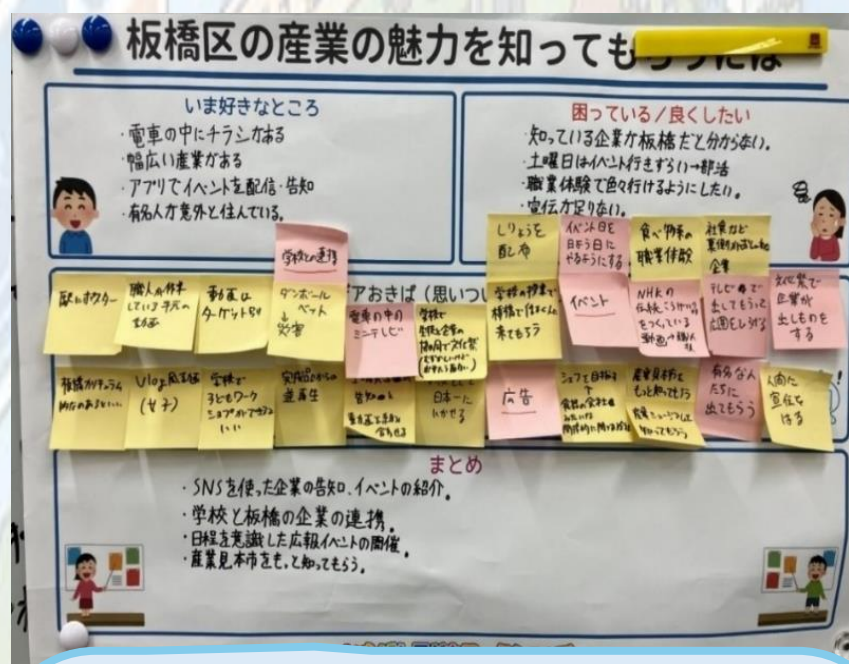


いちばん「応援したい」と
思った投票結果

第2位!!



○ 班で話し合った内容



- ・ 会社の人が授業で話す
- ・ 職業体験で行くところが限られている
- ・ 私立中で職業体験がなかった
- ・ 子どもワークショップを学校でやる
- ・ 文化祭に近隣の会社の人^{きんりん}も出展してもらう
- ・ 中央図書館のサイネージの活用
- ・ 板橋区だけではなく、近隣の区にも PR する

- ・ 駅の看板^{かんばん}で宣伝する
- ・ SNS で発信（インスタで特集など）する
- ・ 職人の手元アップとかショート動画が見やすい
- ・ 飽きないよう視覚的にわかりやすく、職人の様子、行程^{こうてい}を見せる等、因果関係^{いんがかんけい}がわかるとよい
- ・ 部品がどこに使われているか、逆再生とか面白い
- ・ 移動教室みたく工場見学に行きたくない動画をつくる
- ・ Vlog のようにおしゃれな動画で興味を引く
- ・ 対象年齢^{ねんれい}別の動画や学校を通し企業のことを伝える



色々なアイデアが
たくさん出たね!

○ 発表内容

産業^{さんぎょう}の魅力について知る前に、区内にどのような企業があるのかを、そもそも知らなかったなので、区内企業^{にんちど}の認知度をあげる必要があるという意見が多く上がりました。

認知^{にんちこうじょう}向上の手段としては、SNSでの発信をはじめとして、「文化祭や、職業体験など学校との連携^{れんけい}を増やして、学生が知る機会を増やす。」「イベントは特定の曜日ではなく、開催日が複数ある方が参加しやすい。」「産業^{さんぎょう}見本市^{みほんいち}をもっとたくさんの人に知ってもらう。」など、様々な側面からの意見となりました。



○ これからの板橋区



○区内企業の認知度向上について…

→ 現在策定中の「板橋区産業振興構想2035」において、次世代を中心とした区民と区内産業^{さんぎょう}の距離を縮めるために、「区民が区内産業^{さんぎょう}に共感する原体験^{げんたいけん}となるにぎわい^{そうしゅつ}機会の創出」や「将来の区内産業^{さんぎょう}を担う児童・生徒・学生を育てる次世代教育^{しさく}」を施策に盛り込む方向で検討を進めています。

○職業体験の選択肢を増やすために…

→ 学校とも連携し、色々な職業を体験できる機会を提供できるように検討します。

○産業見本市^{さんぎょう みほんいち}をもっとたくさんの人に知ってもらうには…

→ 昨年に続き、今年も区民・子ども向けの開催日を設け、周知の工夫に取り組んだ結果、たくさんの人に会場してもらえました。来年以降も、もっとたくさん子どもたちに関心を持ってもらえる内容を企画していきます。

いただいた意見をもとに、今後も産業^{さんぎょう}の魅力^{みりょく}を知ってもらうための検討を続けていきます。

最後に

いたばし子どもワークショップにご参加いただき、ありがとうございます。
小学生から高校生まで、いろんな子どもたちが集まってくれて、大変嬉しく
思っています。

この子どもワークショップは、子どもの目線で、自分たちに関わることに
ついて、みんなで考え、意見を出し合う機会です。

板橋区は、子どもたちの声を聴き、意見を大切にしたいと考えています。こ
れまでも、子ども・子育ての安心・安全を第一に考え、あいキッズや、こども動
物園、ポローニャ絵本館など、ほかのまちにはない取組を進めてきました。

これからも、皆さんの意見を尊重し、もっともっと、板橋区を良くしてい
きたいと思いますので、皆さんも一緒にたくさん勉強していきましょう。

板橋区の10年後のめざすまちの姿は「未来をひらく緑と文化のかがやくまち
“板橋”」です。どんなことに取り組んでいくか、皆さんからいただいた意見も
参考に、計画をつくっていますので、楽しみにしててください。

10年後は、ここにいる皆さんも全員が大人です。ぜひ、今日の意見を忘れず
に、立派な大人になってください。

そして、大きくなったら、次の子どもたちに教えられるようになって、一緒
に板橋区を「東京で一番住みたくなるまち」にしていきましょう。

令和7年12月

板橋区長

坂本 健

